



国土交通省 道路局長 様

泉大土第 118 号
平成 19 年 4 月 25 日

泉大津市長 神谷 昇
(公印省略)

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、日頃より泉大津市の道路行政全般に深いご理解とご支援を賜り、感謝いたしております。

先般、標記の趣旨についての説明とご依頼がありました件について、別紙のとおり意見要望いたしますので、よろしく申し上げます。

【効率化を進める上で特に優先度の高い施策】

「国・府・市町村の連携による早期事業進捗」

補助金減少と地方財政困窮のなか都市計画道路の進捗が停滞し事業効果が図れていないのが現状であります。

特に市町村間で連絡する幹線網整備は国、府、市町村と連携しながら集中した事業進捗を図る必要があることから特段の政策配慮が必要と考えられます。

さらに、国道・府道の飽和状況を積極的に緩和していくためには、場合によっては国、府が直接に関与して工事を実施することも検討していただきたい。

「社会変化、地域の活用に合わせた道路構造の弾力化運用」

地域の実情や住民の意思を反映する取組み（合意形成が図れる地域）に対し、道路構造令における道路規格構造、断面構成等を柔軟に運用できることで生活道路として機能や景観を重視する地域に即したまちづくりに貢献できる。

例：4車線道路の中央分離帯の非設置、2車線供用などで、コスト削減、沿道の土地利用向上、歩行者・自転車道空間の確保、緑化空間の拡充など潤いと環境や賑わいに配慮した利用度の高い公共空間の確保ができるのでは

「地方道路整備臨時交付金事業の継続」

本事業は、地方の創意・工夫を活かした個性的な地域づくりを推進することを目的としていることから、地域の生活者重視の視点を踏まえた道路整備を行うことが可能となるため、平成20年度以降も本事業の継続が必要です。

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

「地域の発展を促す高規格道路の完成」

関西空港が平成19年8月に完全24時間空港として供用開始されようとしており、ますます大阪湾域の活性化に期待が高まるなか交通アクセスは未だ熟成されていない、大阪湾岸環状道路、関西大環状道路の早期完成により京阪神から近畿枠とし一層グローバル化が進むことであり優先度を高く設定されたい。

「認可事業の財源確保」

既事業認可の事業であっても、交付金等のシーリングにより要望額に対する1/2が交付決定額になる状況であり、道路特定財源に余剰があるかのような報道がなされていることが理解できない、少なくとも現在進捗中の事業については要望額に対して全額交付すべきであると考えます。

「踏切対策のスピードアップ」

連続立体交差事業は、事業認可後、完成まで長期間を要することから着手時と完了時では、街の様相が大きく変わっている状況である。

そのようなことから、地方負担割合を軽減することにより事業期間が短縮され、事業促進が図られ、早期完成が見込まれることとなるので国庫補助金の増大を要望する。

【その他、道路政策や道路の整備・管理全般】

「維持管理費用を地方へ配分し道路維持管理水準の不均等是正」

現状の道路維持では、国、府と市町村間の維持管理コストに差異があり、行政サービスや資産管理の格差が広がりつつある、道路のネットワーク網を広げ、機能連携を図るうえで維持管理水準を一定化させるため、それに伴う財政支援措置が必要です。

「地域の自治体が活用できる施設のしくみ」

自動車専用道路（都市高速道路を含む）のパーキングエリア等を地域のイベント、地場産業の宣伝、地域物産の販売拠点に開放するしくみを作る。

また、地元自治体と協力し、地域の伝統、産業、工芸などの拠点となる「道の駅」を増やしていく。

「道路特定財源を既存ストックの活用にも投入を」

人に優しい街づくりの一環として、既存の4車線道路を2車線化し、環境配慮や歩行者配慮、自転車道の設置などに改良する事業への財源として、また維持管理事業への財源としても投入すべきである。